


山 行 報 告 書

山行報告提出者 : 鈴木

山 域・山 名：大雪山系 (旭岳 2,291m 他) (北海道上川郡東川町)	
入山日：平成 29 年 7 月 8-14 日 (土-金) 6 泊 7 日 山中 4 泊、前後泊各 1 泊 帰宅日：7 月 14 日	
プラン担当者 正： 鈴木 副：	7/13 十勝岳
参 加 者 男 1 名、女 名、計 1 名	L：鈴木 報：鈴木 記：鈴木 (単独行) 
7/9 晴れ 7/10 曇り時々晴れまたは雨 7/11 曇り時々晴れのち雨 7/12 曇り のち雨 7/13 晴れ	
7 月 8 日 (土)	自宅発 AIRDO 081 便にて空路 羽田 07:00-旭川 08:25 旭川空港よりバスにて昇仙峡に入り民宿で前泊
7 月 9 日 (日)	04:30 起床 06:00 昇仙峡黒岳ロープウェイ、リフトにて 7 合目まで、 07:00 山行開始-08:10 黒岳 08:20-黒岳石室-09:50 北嶺分岐 10:00-中岳分岐-11:10 間宮岳 11:10-12:10 旭岳 12:20- 13:20 間宮岳 13:30-14:30 北海岳 14:40-白雲分岐-16:00 白雲岳避難小屋 (テント泊)
7 月 10 日 (月)	04:30 起床 06:20 白雲岳避難小屋発-07:00 高根ヶ原分岐 07:10- 08:40 忠別沼 08:50-10:10 忠別岳 10:20-忠別小屋分岐- 12:00 五色岳 12:10-13:10 化雲岳 13:20-14:00 ヒサゴ沼避難小屋 (テント泊)
7 月 11 日 (火)	03:00 起床 04:20 ヒサゴ沼発-ヒサゴのコール-08:30 トムラウシ山 08:40-10:50 三川台 10:50-15:10 コスマヌプリ 15:10- 17:00 双子池 (テント泊)
7 月 11 日以降 2Page へ ↓	

7月12日 (水)	03:30 起床 05:30 双子池発—07:20 オプタシケ山 07:30—08:50 ベベツ山 09:00—10:00 美瑛富士分岐 10:10—11:20 美瑛岳分岐 (暴風雨のため引き返す)—12:00 美瑛富士分岐 12:00—13:00 美瑛富士避難小屋着 (小屋泊)
7月13日 (木)	03:30 起床 05:20 美瑛小屋発—07:00 美瑛岳分岐 07:10— 09:40 十勝岳 10:00—12:20 望岳台下山、白銀荘へ登山客の車で移動、 バスで上富良野駅へ行き周辺民宿泊
7月14日 (金)	上富良野駅よりバスにて旭川空港へ AIRDO 084便 13:30— 15:25 にて 羽田経由帰宅。

荒天候時のエスケープルート： 非難小屋泊、近場の下山路にて下山。

装 備 と 食 糧	共同装備：共 同 食：なし 車提供者：なし
	個人装備：テント一式、ストーブ (ガス含)、クッカー、ヘッドランプ、雨具、防寒衣、 コンパス、地図、替衣類、シュラフ、エアマット、ストック、軽アイゼン、 水、浄水器、グローブ、スパッツ、医薬品、熊避品、ラジオ、カメラ 個人食：食事×13 プラス予備食、行動食
感 想	<p>今回の山行で特に注意した点は、営業 (有人) 小屋がないことへの配慮 (水—浄水器持参、 排せつ物—携帯トイレ持参し運よく下山口で受け入れ箱があり現地処理できた。) や熊対策、 道迷い注意 (不明瞭な登山路) などで、失態と荒天もあり最終日予定の富良野岳はカット したが大雪山系の魅力を十分満喫できた。</p> <p>本州では見られない広さのお花畑、雪渓、沼、火山荒涼地帯など目くるめく雄大な山域を 目の当たりにした。半面、不明瞭な登山道、排せつ物持参、悪天による撤退、など サバイバル度が高い山域で自分の甘さに勉強させられる面が多々あり優劣含め有意義な 山行になったことは言うまでもない。</p>